|  |
| --- |
| **「大阪MICE誘致戦略（案）」に対する府民・市民意見等の募集結果** |
| 【募集期間】令和５年２月13日（月曜日）から令和５年３月14日（火曜日）まで　　　　 |  |
| 【募集方法】電子申請・郵送・ファクシミリ |  |
| 【意見件数】大阪MICE誘致戦略（案）に対するご意見等を募集した結果、６名の方から延べ11件（うち意見の公表を望まないもの３件）のご意見・ご提言をいただきました。寄せられたご意見等の概要と、これに対する大阪府・大阪市の考え方は次のとおりです。 |  |
| ※いただいたご意見等については、趣旨を損なわない範囲で一部要約している部分があります。 |  |
| ※公表を望まないものを除く８件のうち、４件については同趣旨のご意見として集約し、４件について回答させていただいております。 |  |
| **番号** | **意見内容** | **府市の考え方** |
| **【１】戦略策定にあたって** |
| **１** | 取組の方向性（20頁）で「統合型リゾート（IR）を世界水準のオールインワンMICE拠点とし」、具体的な施策展開（27頁）で「統合型リゾート（IR）の誘致、世界水準のオールインワンMICE拠点として開業」、具体的な施策展開（29頁）で「統合型リゾート（IR）の開業を見据え」及び、オール大阪による推進体制の構築（30頁）で「統合型リゾート（IR）の開業に向けて」と記載があるが、IR区域整備計画は未だ認定されていない。認定されていないものを前提とした記述を本戦略案に盛り込みことは不適切である。そもそもカジノは賭博場であり、カジノを誘致することには、ギャンブル依存症の拡大など多くの問題を含んでいる。そのため、カジノ誘致自体に反対である。カジノを中心とした総合リゾート（IR）事業の開業ありきで策定された本戦略は、即刻撤回すべきである。 | 2025年の大阪・関西万博の開催等と並び、2029年秋冬頃の開業が想定される統合型リゾート（IR）の立地による効果は、本戦略の取組期間（2023年度から2032年度）において考慮すべき重要な事項と考えております。なお、MICE誘致にかかる施策内容については適切な進捗管理を行い必要に応じて追加・見直し等を行う予定です。いただいた内容については、ご意見として承るとともに、関係部局にお伝えさせていただきます。 |
| **【４】戦略の基本的な考え方と取組みの方向性** |
| **２** | MICEの重要な要素である展示施設について、今回申請されたIR区域整備計画では、統合型リゾート（IR）にて開設される展示施設は2万平方メートルとされているが、近隣の既存施設（インテックス大阪）が７万平方メートルと見比べても極めて規模が小さい。そして、展示面積について、韓国やシンガポールには10万平方メートル、タイには14万平方メートル、中国には50万平方メートル、アメリカでも23万平方メートルから24万平方メートルの施設があることから、統合型リゾート（IR）の展示施設が国際的にみていかに貧弱かが分かる。近隣の既存施設と競合することなどから、統合型リゾート（IR）として展示場施設を設置したことによる効果など到底期待できないが、この点について本戦略では全く考慮されておらず、IR開業によりMICE需要を喚起できるなど誤った分析をしている。 | 統合型リゾート（IR）を国際会議場と展示会場、ホテル施設等が併設された世界水準のオールインワンMICE拠点として整備するとともに、大阪国際会議場等の既存のMICE施設との連携等により、大阪・関西が強みを有する分野に関する国際会議やMICEイベントの誘致・創出を促進し、産業の競争力強化等に取り組むこととしています。いただいた内容については、ご意見として承るとともに、関係部局にお伝えさせていただきます。 |
| **３** | 統合型リゾート（IR）は、カジノを中心としたものであり、カジノ事業者は、収益の観点から、できる限り長い時間カジノ施設に滞在して同施設やその併設施設を利用することを望むものであり、かかる特性について検討した形跡もなく、総合型リゾート（IR）が誘致されても、地域に与える経済効果は極めて限定的であり、本戦略案ではその点への考慮も全く欠けている。 | MICEの開催は、会議や展示会・見本市の運営等の直接的な経済効果に加えて、国内外からの来訪者によって生じる宿泊や飲食、観光等、幅広い関連産業において高い経済波及効果が期待できるものです。統合型リゾート（IR）は、世界水準のオールインワンMICE拠点として整備するものであり、MICE開催に伴う地域への様々な経済波及効果等が見込めるものと考えております。いただいた内容については、ご意見として承るとともに、関係部局にお伝えさせていただきます。 |
| **その他** |
| **４** | IR施設のある外国では、MICE施設の赤字を併設のカジノで補うと言われてきたが、これまでのIR推進局の見解も、IR全体の３％の面積のカジノの収益で、MICEの赤字を補うと言ってきた。そのことを明らかにせず、MICE施設で大阪が潤うような幻想を与えるのは極めて不誠実である。 | いただいた内容については、ご意見として承るとともに、関係部局にお伝えさせていただきます。 |